

第 3 回「水よ輝け！三島の水辺写真展」開催（2008 年 12 月 1 日～12 日）

12 月 1 日～12 日まで、第 3 回「水よ輝け！」三島の水辺写真展が三島市役所玄関ロビーで開催されました。

開催期間中には、三島市役所を訪れた人たちが、用事を終えた後で写真を眺める姿が多く見られました。三島市内から訪れた親子は「よく知っている風景がいくつもあります。とても綺麗でいいですね」と話をしてくれました。市役所の案内所に詰めている職員は「皆さん帰りに足を



「綺麗ですね」と写真を見つめる親子

止めてご覧になってくださっています」と、笑顔で話してくれました。

これに先立ち展示準備が 11 月 28 日、同所にて行われました。塚田冷子会長をはじめ、小松幸子副会長、秋山峰治事務局長、大村洋子理事、岩田重理理事、青木利治理事、佐伯忠夫理事、中西康徳理事、柴原俊介理事、宇水勉理事、

坂井良重理事が集まりました。

展示レイアウトは事前に案をデジカメで撮っておき、それにあわせて実際にボードに貼っていくという単純な作業のつもりでした。しかし、実際に行ってみると、全体や上下左右のバランスを考えながら 1 枚 1 枚を丁寧に貼っていくという、かなり時間のかかる作業となりました。

「みんなで知恵を出し合って楽しかったわね」、「頭を使ってボードも運んで体も使い、活性化したね」と三島ゆうすい会らしい、和気あいあいとした雰囲気の中、準備が無事に終了しました。50 点以上の作品が集まった今回の展示会、写真だけではない“宝物”が三島ゆうすい会にまたひとつ増えたような気持ちがしました。



水辺の写真展の準備ができました！

「平成 20 年駿東社会科研究会フィールドワーク」のお手伝い ～富士湧水を巡る歴史散策～



塚田邸からいよいよ源兵衛川

も柿田川公園や清水小教材園にもいらっしやるということで、塚田会長、小松副会長は、昼食を済ませてから同行させていただき、貴重な体験をすることができました。

熱心な先生方から実体験の大切さを学ばせていただき、感謝の気持ちでいっぱいの人でした。湧水の豊富なこの地域の未来に向けて、先生方と一緒に、次世代の子どもたちのために、地道な活動を続けていくことが大切だと実感しました。

夏休み中の 8 月 2 日（土）朝 9 時半、待ち合わせ場所は、三島市立公園「楽寿園」の駅前口でした。裾野市立深良小学校の中村恒之校長を会長とする駿東社会科研究会の先生方 10 名の案内と説明を、塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子理事の 3 名が担当しました。今回は、三島ゆうすい会と縁のある小原隆俊（長泉町立南小学校教頭）先生からの依頼でした。同研究会では、訪問地の様々な資料を作ってくださいっており、フィールドワークが順調にスタートしました。

楽寿園で小浜池等を見学後、塚田邸でホテルの飼育について説明を聞き、いよいよ源兵衛川の散策。気持ちの良い晴天で、清流に入り思わず歓声を上げる先生もいらっしやいました。三島梅花藻の里まで、徒歩で見学しましたが、先生方のフィールドワークは、午後



肩にトンボもとまって

「富士山を世界文化遺産に」

11月13日(木)の夜、塚田冷子会長宅にて富士山を世界文化遺産に登録するための山梨県と静岡県との取り組みについて、三島市教育委員会文化振興課の大林勲氏からお話がありました。今回、講師としてご参加くだ

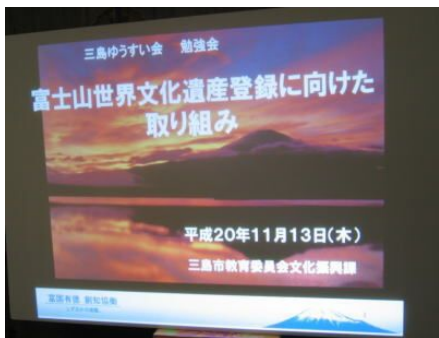


富士山を世界文化遺産にするには取り組みが大切

さったのは、堀井義信三島市楽寿園課長、鈴木勇三島市楽寿園管理係長、大林勲三島市文化振興課主査ほかで聴衆は当会会員を含む30名ほどでした。

以前、様々な条件から富士山は世界自然遺産候補に選択されませんでした。しかし現在、富士山を世界文化遺産へとの取り組みが両県でなされています。富士山はその壮麗な姿から時代を超え、崇拝や信仰の対象とな

り、さらに創造的で優れた芸術作品を生み出す母体となるなど、まさに日本文化の源となってきました。この日本人にとって掛替えのない宝物である富士山を人類共通の財源とするため世界文化遺産登録を目指しているのです。そのために山梨、静岡両県及び関係市町村では、学識経験者により組織された委員会において「世界遺産としての富士山の価値」を示すと考えられ、る構成資産候補を紹介しています。火山活動により生み出された資産、人間とのかかわりが生み出した信仰



パワーポイントを使用して説明

り、さらに創造的で優れた芸術作品を生み出す母体となるなど、まさに日本文化の源となってきました。この日本人にとって掛替えのない宝物である富士山を人類共通の財源とするため世界文化遺産登録を目指しているのです。そのために山梨、静岡両県及び関係市町村では、学識経験者により組織された委員会において「世界遺産としての富士山の価値」を示すと考えられ、る構成資産候補を紹介しています。火山活動により生み出された資産、人間とのかかわりが生み出した信仰



富士山世界文化遺産に向けて参加者の決意は？

や文化創造資産などなど。一方富士山の環境を守るために5項目からなる「富士山憲章」に基づいた様々な取り組みが、両県で地域住民やNPO法人を巻き込み活発に行われています。

こうした内容説明の後、参加者から富士山の世界文化遺産登録に関する賛否両論が活発に飛び交いました。文化遺産になるとさらに観光客が増え、環境破壊に繋がる一方、文化遺産になることで縛りが生じ、環境破壊にストップがかかるなど、意見は様々でしたが、それぞれが富士山を世界文化遺産登録ということに関して、改めて考える機会になったのではないかと思います。

第2期「三島の湧水を知る講座」

三島本町タワー（三島市民活動センター）会議室で「三島の湧水を知る講座」が下記の通り実施されました。いずれも午後の約2時間半で、参加者は、毎回50人を超す人数でした。三島市を愛し、三島の湧水をもっとよく知ろうという意欲のある中高年が大半で、当会からも多数参加しました。

各講師ともデータが多く、長年湧水関係の仕事に就き、集めたデータに基づく研究を披露しました。

各講座とも活発な質疑応答がありましたが、特に湧水の枯渇した原因を、単に大企業のみみ上げによるものと片付けず、自分たちの生活様式にまで踏み込んで考えることが大事だという意見が印象的でした。

第1回 9月13日(土)「富士山周辺の地下水保全」

第2回 10月4日(土)

「富士山世界文化遺産登録に向けた静岡県の取り組み」

第3回 11月4日(土)「柿田川をめぐる水循環」

こんなことも・・・講師活動しています！

- ★9月20日 西小学校3年
ホテルの生態と育て方
- ★10月27日 日大三島放送部
ホテルについて
- ★11月2日 日大三島放送部
三島の水とミシマバイカモについて



清掃活動も積極的に...

- ・平成20年度ゴミゼロ大作戦有志参加
- ・ホテルの里、宮さんの川清掃有志参加(毎日)
- ・源兵衛川第2ゾーンの清掃有志参加(土、日、祭日)

ゆうすいトピックスあれこれ

「山のかなたに」の鑑賞会

10月16日(木)、塚田冷子会長宅で「山のかなたに」のDVDを理事が鑑賞しました。



さあ、映画のはじまり、はじまり～

この作品は昭和25年に三島市立南小学校で撮影されたものです。石坂洋次郎の小説を脚色井出俊郎、監督千葉泰樹により制作された映画で、出演は池部良、堀雄二、若山セツコ、角梨枝子という昔懐かしい俳優が顔を揃えています。

作品の舞台が中学であるため、三島南高の生徒は男子生徒のみがエキストラで参加したということです。今から考えるとそん

なことがあるのかと思うような事件が起こり、大変なことになるのですが、弱いものでも勇気を持って行動することの大切さを知らされる映画です。そして、三島、沼津、小浜山、狩野川の河原、伊豆各地らしいふるさとの風景がふんだんに出てきます。

この映画は来年(2009年)三島ゆうすい会20周年イベントとして、三島市民文化会館で上映したいと理事の意見が一致しています。15周年記念の「坊っちゃん」の時同様、フィルムを探し、チケットの販売、前日の準備、当日の上映会や諸作業と、また忙しくなりそうです。

「三島梅花藻の里」の秋

この10月、三島梅花藻の里の看板が新しくなりました。平成8年に公園化整備が開始されてから早12年。今では間近にミシマバイカモを見ることができるようミニ公園として多くの市民や観光客に親しまれ、しっかりと

地域に根付いています。秋の三島梅花藻の里は、ミシマバイカモの花こそ少ないものの、秋の植物に彩られ落ち着いた風情をかもし出しています。

現在、「三島梅花藻の里」は、NPO法人グラウンドワーク三島のボランティアが中心となって定期的な作業が行われ、ミシマバイカモの保護と美しい景観が守られています。定例作業は毎週月曜日・木曜日、毎月第2日曜日の午前10時から行われています。ぜひ皆様のご参加を!

連絡先

NPO法人グラウンドワーク三島
TEL 055-981-5421



リニューアルされた看板

「ミシマバイカモの系統分類上の位置づけ」が日本進化学会高校の部最優秀賞

三島市泉町の石井英貴君、石井将仁君兄弟は小さい時から宮さんの川、源兵衛川でハヤ、サワガニ、ドジョウを相手に、また中郷温水地や三ツ又で釣りをして遊んでいました。

兄弟はその後、動植物の生態に興味を持ち観察し

- 1、源兵衛川と小浜池の生き物とその移り変わり
- 2、水中植物による組織培養

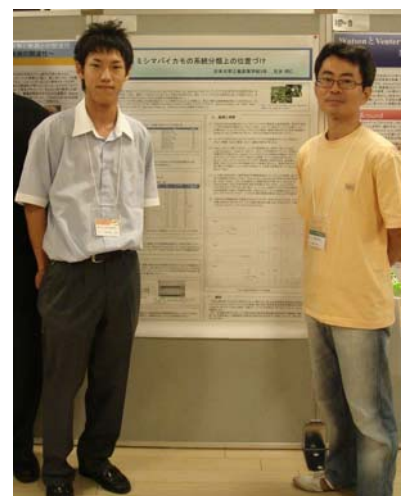
- ・水中植物は水なしで育てることが出来るか
- ・組織培養で増殖したミシマバカモを川に戻す

で日本学生科学賞を受賞しました。

そして、2008年8月22日には、三島にある国立遺伝学研究所の高野敏行先生の指導も幸いし、日本進化学会第10回東京大会「ミシマバイカモの系統分類上の位置づけ」で石井将仁君が、高校生の部・最優秀賞を受賞しました。兄英貴君の研究を見事に受け継ぎました。

英貴君は、筑波大学で三島柴胡(ミシマサイコ)の研究に没頭しています。

雑誌に投稿する時や、発表する時には、常に「三島ゆうすい会の協力」と書き加えてあり、私たち三島ゆうすい会は感謝しています。



発表展示の前で石井将仁君(左)
高野敏行先生と

ななくさがゆ 七草粥を食べに行こう！

200年1月7日(水)、塚田玲子会長宅の庭で七草粥の集いを行います。2002年(平成14年)から始まった催し物です。

毎年寒い最中に行われていますが、70名~80名くらいの方に参加していただいています。大変うれしい限りです。



この七草粥は、何ともいえない塩加減が魅力です。お正月でちょっと食べ過ぎた胃腸をひと休みさせて、七草の効能をたっぷり堪能していただきたいものです

今回もわらべ歌などを「コールロベリア」の皆さんが歌ってくださることになっていますので、是非多くの方をお誘いして、お越しください：



コールロベリアの皆さんと一緒に歌いましょう

定例の清掃予定

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！雨天時は原則として休みです。



●宮さんの川清掃

原則として毎朝6:00~

宮さんの川に集合

長靴、軍手又はビニール手袋持参。

「宮さんの川を守る会」とともに

●源兵衛川のいづみ橋から広瀬橋までの草取りなど

原則毎週土曜日、日曜日の朝6:00~

源兵衛川いづみ橋集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

「三島ゆうすい会」有志とともに

●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜日13:00~

水の苑緑地・かわせみ橋集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参

「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜日10:00~

白滝公園集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参

「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜日10:00~

三島梅花藻の里集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

会費・ご寄付・資機材支援

●ご寄付

小川貴惟 様



●会費ご入金

本年度(平成20年度分)

の納入にご協力賜りますよう

よろしくお願い申し上げます。

(詳しくは同封の案内をご覧ください)

★未納の方は、いずれかの口座へご入金

くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(年会費金額)

・正会費 3,000円

・賛助会費1口 10,000円

(お振込先)

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名: 三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No. 0346532

・スルガ銀行に三島セントラル支店

普通預金 No. 572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No. 1042399

口座名: 三島ゆうすい会

会 長: 塚田玲子

